《 日语会话中级 I 》专科课程教学大纲

一、课程基本信息

|  |  |
| --- | --- |
| 课程名称 | （中文）日语会话中级 I  |
| （英文）Intermediate level of Japanese conversation I  |
| 课程代码 | 0145008 | 课程学分 | 2 |
| 课程学时  | 32 | 理论学时 | 0 | 实践学时 | 32 |
| 开课学院 | 国际教育学院 | 适用专业与年级 | 商日·计应二年级 |
| 课程类别与性质 | 专业必修课 | 考核方式 | 考查 |
| 选用教材 | 《新经典日本语》 主编 刘利国 宫伟外语教学与研究出版社，2016年1月第1版 | 是否为马工程教材 | 否 |
| 先修课程 | 日语会话初级II 0145007 (2) |
| 课程简介 | 本課程は、日常生活における基本的な日本語表現に重点を置き、会話能力の向上を目指す。口語の文体や口調など、日本語の会話に密接に関わる言語知識の学習を通して、より実践に近い形の日本語を学ぶことができる。また、本課程では、語彙・文型を学習した後、基本会話のロールプレイを練習し、学んだことが応用しやすいようになっており、実用性の高い日本語会話の練習を図っている。基礎日本語で習得した文型や文法知識を、多くの基礎会話を通して定着させ、日常会話の特徴を学び、状況に応じて適切な表現を選択し、より効果的かつ正確に自己表現するための日本語の使い方を学ぶ。語彙の暗記、文型を応用した基本会話の学習、チームでの活動を通し、日本語を話す勇気と自信を高め、日本語の会話力を向上させる。 |
| 选课建议与学习要求 | 本課程は、会話に特化した日本語を話すためのトレーニングのコースであるため、日本語の基礎知識と、日本語で自己表現ができる能力が必要である。口語表現に重点を置いているため、より高いレベルの会話の基礎を築くことが期待できる。 |
| 大纲编写人 |  | 制/修订时间 | 2024.1.2 |
| 专业负责人 |  | 审定时间 | 2024.2.20 |
| 学院负责人 |  | 批准时间 | 2024.2.20 |

二、课程目标

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 类型 | 序号 | 内容 |
| 知识目标 | 1 | 日常生活、仕事などで使える日本語を学習する。 |
| 2 | 様々な状況での基礎会話を学習し日本語読解力を身につける。 |
| 技能目标 | 3 | 口語表現・文体を学習し、聴いて理解できるようになる。 |
| 4 | 日本語を使って自己表現できるようになる。 |
| 素养目标(含课程思政目标) | 5 | 何度も日本語会話を聴き、継続的に勉強する力をつける。 |
| 6 | グループワークを通して協調性を培う。 |

三、实验内容与要求

（一）各实验项目的基本信息

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 序号 | 实验项目名称 | 实验类型 | 学时分配 |
| 理论 | 实践 | 小计 |
| 1 | 紹介・確認 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 2 | 誉める・X1 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 3 | 注文・申し出 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 4 | 尋ねる1・X2 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 5 | 尋ねる2・助言 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 6 | 許可・X3 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 7 | 問い合わせ・苦情1 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 8 | 苦情2・X4 | 综合型 |  | 4 | 4 |
| 实验类型：①演示型 ②验证型 ③设计型 ④综合型 |

（二）各实验项目教学目标与教学内容以及要求

|  |
| --- |
| 实验1：（紹介・確認） |
| ・人を紹介できるようになる。・紹介されたときの応答ができる。・分からない言葉を聞き返すことができる。 |
| 实验2：（誉める・X1） |
| ・人をほめることができる。・ほめられたとき、適切に返答することができる。・1～3課のよく使われる表現を使えるようになる。 |
| 实验3：（注文・申し出） |
| ・喫茶店やレストランなどで注文したり、お金を払ったりすることができる。・自分から話しかけ、手伝いなどを申し出ることができる。 |
| 实验4：（尋ねる1・X2） |
| ・相手の説明を正確に理解することができる。・4～6課のよく使われる表現を使えるようになる。 |
| 实验5：（尋ねる2・助言） |
| ・道を尋ねることができる。・分からないことについて質問することができる。 |
| 实验6：（許可・X3） |
| ・上司に休みなどの許可を求めることができる。7～9課のよく使われる表現を使えるようになる。 |
| 实验7：（問い合わせ・苦情1） |
| ・電話で問い合わせることができる。・文句・苦情を言うことができる。 |
| 实验8：（苦情2・X4） |
| ・苦情を言われたら素直に謝ることができる。・10～12課のよく使われる表現を使えるようになる。 |

（三）各实验项目对课程目标的支撑关系

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 课程目标实验项目名称 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 紹介・確認 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 誉める・X1 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 注文・申し出 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 尋ねる1・X2 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 尋ねる2・助言 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 許可・X3 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 問い合わせ・苦情1 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |
| 苦情2・X4 | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

四、课程思政教学设计

|  |
| --- |
| 课程思政点：L01⑤：爱岗敬业，热爱所学专业，勤学多练，锤炼技能。熟悉本专业相关的法律法规，在实习实践中自觉遵守职业规范，具备职业道德操守。　自他紹介や、尋ねる、問い合わせなど、仕事でも使える日本語を数多く学ぶことができ、口語に特化した課程であるため、より実践に近い日本語に触れることができる。また、基礎会話のロールプレイを学ぶことで日本の生活文化背景を知り、日本人と接する時のマナーや、仕事での言葉遣いも学ぶことができる。将来、日本での仕事や、日本人と関わる際に助けとなり、日本語を使った職業への選択肢も視野に入れることができる。また、基礎日本語の文法から基礎会話へと何度も繰り返して文型を学ぶことで、継続して学ぶ力が付く。 |

五、课程考核

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 总评构成 | 占比 | 考核方式 | 课程目标 | 合计 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| X1 | 15％ | 口试·出勤·平时成绩 | 20 | 20 | 20 | 20 |  | 20 | 100 |
| X2 | 10％ | 口试·出勤·平时成绩 | 20 | 20 | 20 | 20 |  | 20 | 100 |
| X3 | 15％ | 口试·出勤·平时成绩 | 20 | 20 | 20 | 20 |  | 20 | 100 |
| X4 | 60％ | 口试 | 20 | 25 | 10 | 25 | 10 | 10 | 100 |

六、其他需要说明的问题

|  |
| --- |
|  |